

若者支援におけるユースワークの価値を考える

ユースワーカー養成公開研究会

相変わらず、若者を巡る多くの社会問題や課題が語られる中、短絡的な原因探しや、“今時の若者”言説で済ませない、包括的に若者と社会構成を考える視点が求められています。ユースワーカー養成研究会(*)では、若者に関わる実践や研究を行っている人だけでなく、多方面から若者とその育ち、支援について考えを付き合わせる、「公開研究会」を企画しました。メインゲストとして、岐阜大の南出さん、滋賀県立大の原さんのお二人を招くとともに、若者学研究会メンバーの若者からもコメントーターとして行松さんに登壇いただき、新たな若者像や若者が生きやすい社会づくりのあり方について、議論したいと思えます。

□日時 2017年 3月25日(土) 13:00~16:30

□会場 京都市中京青少年活動センター

□対象

- 若者の成長・支援に関わる実践、研究を行っている方
- ユースワークやワーカー養成に関心をお持ちの方
- 上記に関心を持つ学生・院生等 50人程(先着順/参加無料)

□共催

- ・公益財団法人 京都市ユースサービス協会
- ・立命館大学人間科学研究所

□プログラム

13:00 開会

パネルフォーラム

パネラー 南出 吉祥氏(岐阜大学准教授)

原 未来氏(滋賀県立大学助教)

コメントーター

行松 伸之さん(立命館大学産業社会学部4年生)

16:30 閉会

■ユースワーカー養成とユース・スタディーズについて

立命館大学と京都市ユースサービス協会の共同研究の成果の一つとして、2006年から立命館大学大学院心人間科学研究科に全国に先駆けて、若者支援の専門スタッフ=ユースワーカーの養成プログラムを設置して、これまでに50人以上の修了者を送り出してきました。現在は、その基盤をより確かなものとしていくため、若者学=ユース・スタディーズの構築に向けた研究を継続しています。

<研究会メンバー>

野田正人(立命大=代表)・荒木寿友(立命大)・斎藤真緒(立命大)・中村正(立命大)
小西浩嗣(帝塚山大)・竹田明子(YS協会)・横江美佐子(YS協会)・水野篤夫(YS協会)

■申し込み・問い合わせ先(下記まで電話・メールでお申し込みください)

(公財)京都市ユースサービス協会(担当:水野 篤夫)
TEL 075-213-3681/FAX 075-231-1231
E-メール a-mizuno@ys-kyoto.org



会場に駐車設備はありません。公共交通機関などをお越しください。

本企画は、京都市ユースサービス協会と立命館大学人間科学研究所の共同研究

「ユースワーカー養成のための専門プログラム開発およびその学術的基盤となるユース・スタディーズの研究」に基づくものです。